

綱領

1. われわれは、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて、われわれの権利を守り、生活の安定と向上をはかる。
2. われわれは、常に暴力と独裁を排し、自由にして明朗なる民主的労働組合としての健全なる発展を期する。
3. われわれは、赤十字の民主化と近代化を促進することによつて、その人道的任務の達成に寄与する。

発行所  
日本赤十字新労働組合連合会  
(略称「日赤新労」)  
東京都港区西新橋3の14の5  
Tel・東京434-7080  
発行責任者  
吉原三郎

# 日赤新労ニュース

— 3月12日 —

## 第4回中央委員会

於静岡県館山寺

### 定期大会は

### 日光(栃木県)に決定

第六回定期大会を控え、運傍方針、予算案等、重要案件審議のため、浜松日赤職組の努力斡旋により静岡県館山寺に於て開催された。会議は終始活発なる討議がおこなわれ、来るべき大会に付議される事項は、中央委員会として概ね決定を見た次第である。

尚今回の中央委員会には、中村金子両氏(今津日赤)が列席された。当日議長には藤井(浜松日赤)中央委員が選出され、書記に本部の夏井氏を任命し、議事日程に従って討議が進められた。

#### 「報告事項」

○一般経過報告  
吉原書記長から最近の本部活動について状況報告があった。

○組織報告  
川出組織部長から組織全般につき報告があり、最近オルグをおこ



中央委員会会場

#### 議事経過

○会計報告  
北村会計から三月七日現在の財政収支について説明し、歳入、歳出の勘定科目の更正を要する点等報告された。

○阿部  
吉原書記長の只今の報告によれば、石巻日赤はベアが四月から実施可能とのことであるが、私達はこれについて何も聞いてない。非組合員だけではないかという疑いも持たれる。

村岸  
日赤としての給与改定が非組合

員だけに適用されるということはない。全くあり得ないことだ。

ベア実施不能は特殊事情を除き全く経営者の責任であり、組合としても突き上げる要がある。本部のテコ入れが必要となれば、いつでも出動する。

○婦人部報告  
婦人部長から本年度おこなったアンケートの問題点について説明があり、その他本年度活動状況の詳細について報告があった。

○審議  
今回のベア不能施設に対しては全力をあげて、これが撤回を期すると共に、該当施設応援態勢を一段と強化すると同時に、対本社交

### 日赤労働運動の完全制覇

- ① 日赤の近代化を実現しよう。
- ② 人事院勧告を完全実施させよう。
- ③ 強固な組織の拡大発展に邁進しよう。
- ④ 年金利度の推進をはかりよう。
- ⑤ 福利厚生施設を充実させよう。

◎本年度補正予算について  
本年度予算は三月七日現在の収支状況よりみると、交通費、郵便送料の値上りが予想以上に支出の面に影響し、諸会議費、文書活動費、通信連絡費等が、当初掲上の予算を超過するに至ったので資金積立金、人件費等より組織更新正を行うことを踏ったところ、やむをえないものとして承認された。

### ◎四十二年度予算案について

久保田  
基本収入である組合費の算出基礎である組合員人数が不明瞭のように思うが。

川島  
組合員数は登録制をとり、本部へ、実数を届けるようにしてはどうか。

川出  
単組は、それぞれの事情がありこの点については最善を尽くしている。又組織拡大とは微妙な関係が

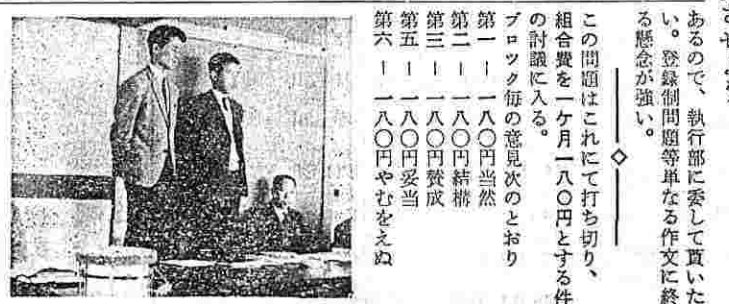
◎次期大会運営について  
次期第六回定期大会に關し次のとおり決定した。  
日時：五月十三日(土)午前九時より、十四日(日)正午まで  
場所：栃木県日光  
尚大会運営等のため、中央委員は大会前日(十二日)午後五時集合すること。

◎四十二年度運動方針について  
第三ブロック及び第五ブロックの村岸、山景両中央委員から、それ、開催ブロック会議における方針案が説明され、最後に吉原書記長から本部案が次のように発表され討議の結果、定期大会に提出する運動方針案を次の如く決定した。

◎山川副執行委員長辞任について  
山川副執行委員長は、三月十五日をもって、管理職(人事・労務担当)に就任、非組合員となる関係上、副執行委員長を辞任したい旨申出があった。これに対し、全員協議の結果、新労から有為の人材を失うことは誠に遺憾であるが、譲って考える時、日赤のため、ひいては本人のためのみならず、又組合員の利益にも繋がるという観点から申し出を諒承し、次期大会も間近なので、その期間欠員の儘とし、補欠選挙を行わないことに決定した。

◎組合の名称について  
日赤新労は、結成以来五年余を経過し、主動権を、取った現在「新

最後にこの問題につき挙手による賛否をとり(賛成一二)を以って組合費一八〇円案を決定した。



### 本年度第二回 婦人部代表者会議

3月11日 於静岡県館山寺

本年度最終の中央委員会の前日その会場である館山寺いすみ館に於て、本年度第二回の婦人部代表者会議が開催された。単組代表者十四名の外、傍聴者多数出席して行われた。終始熱心に討議した結果、次の通り決定した。

四十二年度活動方針  
婦人部活動の充実強化



21組織の拡大強化  
有給休暇の獲得  
43託児所の設置  
右の方針により、今までより強固に活動して行くために、婦人部代表執行委員(本部婦人部長)を補佐する婦人部副部長を定めることに決定した。

◎次期役員の見直しについて  
本件については例年の如く、本人の一身上の都合並びに職場の事情等もあり、容易にまじまじと、最後に次のような本部案が発表された。

- 執行委員長 山田(名一)  
副執行委員長 山景(鳥取)  
" 吉田(盛岡)  
" 森(岡山)  
" 藤井(浜松)  
" 川島(大田原)  
" 宝蔵寺(福岡支部)  
" 竹田(前橋)  
" 服部(名二)  
" 浜松婦人部長

# これが日赤の賃金実態だ!!

## 目立つ地域格差

昨年十一月、本部としては各単  
組の賃金実態を把握するため、初  
任給及び賃金の実態調査を行な  
つたが、二月末日現在で支部十一、  
病院十二、血銀一、計二十四単組の  
提出があつたので報告します。  
提出単組では多忙の中を協力下  
されお礼申し上げます。  
未提出単組には種々事情があつた  
ことと思つが、次の機会に是非協  
力をお願いいたします。  
なお、この調査資料の内容につ  
いては非常に複雑で全部を発表で  
きなかつたが、一応一般的集計の  
みを報告するので諒承されたい。

初任給及び種別俸給調査表 (その1)

俸給表	職種区分	初任給														3年勤続													
		水戸日赤	前橋日赤	足利日赤	浜松日赤	山田日赤	長浜日赤	阿武山日赤	鳥取日赤	岡山日赤	唐津日赤	筑前日赤	今津日赤	埼玉日赤	三重日赤	福岡日赤	大分日赤	前橋日赤	浜松日赤	山田日赤	長浜日赤	阿武山日赤	岡山日赤	唐津日赤	筑前日赤	今津日赤	埼玉日赤	三重日赤	福岡日赤
一般職	事務(大学卒)	F5		F1	F1	F3		F2	F3	F1	F1	F1	F1	F	F1	F1	F1		F4	F6			E1	F4			F4	F4	
	"(短大卒)	G10			G6			G7	G7	G2	G5		G6	G5	G3		G2		G9				F1	G8		G9	F1	F1	
	"(高校卒)	G6	G2	G1	G4	G5	G4	G5	G4	G1	G2	G1	G1	G4	G1	G1	G1	G6	G7	G8	G7		G4	G5	G4	G4	G7	G4	G4
医療(一)	医師	D5	D5		D6	D5	D4	D5	D6	D6	D4								D9	D8	D7		D9	C7					
	歯科医師					D5		D3	D5																				
医療(二)	薬剤師	D6	D5	D3	D6	D7	D4	D5	D5	D6	D4		D1					D8	D9	D8	D7		D9	D7					
	衛生検査技師	E6	E2	E3	E5	E5	E3	E4	E4	E4	E1	E1	E1					E5	E8	E7	E6		E7	E4	E4				
	X線技師	E7	E2	E3	E5	E5	E3	E4	E4	E4	E1	E1	E1					E5	E8	E8	E6		E7	E4	E4				
	栄養士	E6	E2	E3	E3	E4	E2	E3	E4	E2	E1	E1	E1					E5	E6		E5		E5	E4	E4				
	歯科技工師						E3																						
	マッサージ師	E6	E2		E5	E5	E1		E4	E2								E5	E8		E3		E5						
医療(三)	看護婦	C4	C3	C3	C3	C3	C2	C3	C3	C3	C2	C2						C6	C6	C5	C6	C6	C5	C5					
	准看護婦	D5	D2	D3	D2	D2	D2	D4	D2	D2	D2	D1	D1					D5	D5	D5	D7	D5	D5	D4	D4				
技能労務	技能(高校卒)	D5		D1	D3		D4	D3	D3	D2	D1	D1	D4				E6	D6		D7		D5	D4						
	"(中学卒)	E5		E1	E3			E6	E3	E2	E1	E1	E6				E1	E6				E5	E4						
	看助(高校卒)	D5			D3	D4	D2	E6		D1	D1	D1						D6	D7	D5	E9	D4	D4		D4				
	"(中学卒)	E5	E4		E3	E5	E2	E5	E3	E1	E1	E1						E7	E6	E8	E5	E8	E4	E4		E4			
	労務員(中学卒)	E5	E5		E3			E5	E3	E1	E1	E1	E4				E1	E8	E6			E8	E4	E4					

初任給及び種別俸給調査表 (その2)

俸給表	職種区分	5年勤続														10年勤続													
		前橋日赤	浜松日赤	山田日赤	長浜日赤	阿武山日赤	岡山日赤	唐津日赤	筑前日赤	今津日赤	埼玉日赤	三重日赤	福岡日赤	前橋日赤	浜松日赤	山田日赤	長浜日赤	阿武山日赤	岡山日赤	唐津日赤	筑前日赤	今津日赤	埼玉日赤	三重日赤	福岡日赤				
一般職	事務(大学卒)		E3	F7				E3	F6			F6	F6					E8	D5			E8	E11	E8	E7	E7	E7		
	"(短大卒)		F4					F3	G10			F3	F3					F9				E4	F8		F8	F8			
	"(高校卒)	F7	G9	G10	G9			G6	G7	G7	G9	G9	G6	G7	E10	F7	F6	F6			F6	G12	F8	F6	F6	F4			
医療(一)	医師		D11	D9	D9			D11	C9									D16	B4	D14		C10	C14						
	歯科医師																												
医療(二)	薬剤師	D10	D11	D12	D9			C5	D9									D15	D16	D14	D14		C10	D14		D13			
	衛生検査技師	E7	E10	E8	E8			E9	E6						D5	E15	E12	E13			D11	E11		E11					
	X線技師	E7	E10	E9	E8			E9	E6						D6	E15		E13			D11	E11		E15					
	栄養士	E7	E8		E8			E7	E6			E9				E13	E12	E12			D9	E11							
	歯科技工師														D12		E12												
	マッサージ師	E7	E10	E10	E5			E7								E15		E10											
医療(三)	看護婦		C8	C8	C7	C8	C8	C7	C7	C8								C13	C11	C12	C13	B9	C12		C10				
	准看護婦		D7	D7	D7	D9	D7	D7	D7	D8								D12	D11	D12	D14	D12	D12	D11	D12				
技能労務	技能(高校卒)		D8		D9			D7	D6									D10	D13		D14		D12	D11					
	"(中学卒)		E8					E7	E6						E12	E13						D9	E11						
	看助(高校卒)		D8	D8	D7	E11	D6	D6	D4	D6								D13	D13	D12	E16	D12	D11		D11				
	"(中学卒)		E9	E8		E7	E10	E6	E6	E4	E6							E13		E12	E15	E12	E11		E16				
	労務員(中学卒)		E10	E8			E10	E6	E6	E5	E6							E13		E15	E12	E11	E9		E16				

(一般職)

職種別賃金実態調査集計表

昭和41年9月分

施設名	平均年齢	勤年数	扶養家族数	基準内給与(平均)								基準外給与	平均総支給額	備考
				俸給	役付	扶養	暫定	特殊勤務	通勤	計				
浜松日赤	24.8	5.5	0.14	22,454	305	81			19	956	23,814	1,918	25,732	人員(77)
山田日赤	32.0		0	31,800						1,600	33,400	7,776	41,176	(1)
鳥取日赤	31.8	9.5	0.48	29,545	926	258	6			195	30,930	6,610	37,540	(48)
岡山日赤	28.6	5.8	0.5	24,072	382	234	598			758	26,044	4,728	30,772	(53)
唐津日赤	30.0	5.2	1.2	25,478	631	637	13			531	27,290	5,007	32,297	(27)
今津日赤	35.0	10.0	1.0	30,631	1,438	525	801			409	33,856	2,812	36,618	(17)
秋田県支部	36.8	5.9	0.3	23,580	602	180				682	25,044	2,335	27,379	(10)
岩手県支部	34.0	9.0	0.5	27,450		286				724	28,460	2,100	30,560	(14)
山形県支部	37.0	5.0	1.6	27,750	711	900				445	29,806	190	29,996	(8)
埼玉県支部	37.0	12.0	1.0	34,200	3,285	560	953			1,049	40,047	2,024	42,071	(11)
静岡県支部	39.9	10.1	1.2	34,157	2,365	729	954			633	38,838		38,838	(14)
三重県支部	36.3	7.7	1.2	34,940	3,180	660	32	190		1,296	40,298	1,900	42,198	(10)
滋賀県支部	44.6	13.2	0.7	36,283	2,466	567	1,027			475	40,818		40,818	(6)
愛知県支部	41.0	9.6	1.1	38,130	2,455	600	1,910			1,063	44,158	2,295	46,453	(17)
大分県支部	43.0	5.0	1.1	39,638	4,418	650				519	45,225	572	45,797	(8)
富山県支部	49.0	10.4	1.9	41,125	4,020	925	866			440	47,376		47,376	(8)
愛知血液センター	29.0	2.2	0.5	26,200	1,110	400	1,144			1,068	29,922	2,365	32,287	(16)
福岡県支部	37.5	9.0	1.3	36,575	3,878	625	1,954			1,120	44,152	1,826	45,978	(16)
水戸日赤	35.5	9.8	0.8	32,881	1,389	463				714	35,447	6,801	42,301	(16)
筑前山田日赤	31.4	7.2	1.0	26,180	618	546	667			221	28,232	2,103	30,335	(13)
足利日赤	33.0	7.4	0.4	22,100	320	250				317	22,987	5,179	28,166	(12)

(医療職) (一)

職種別賃金実態調査集計表

昭和41年9月分

施設名	平均年齢	勤年数	扶養家族数	基準内給与(平均)								基準外給与	平均総支給額	備考	
				俸給	役付	扶養	暫定	医師確保	特殊勤務	通勤	計				
浜松日赤	28.6	1.0	0.4	41,900		257		8,000			457	50,614	25,400	76,014	人員(7)
山田日赤	35.0	5.0	1.8	50,733	2,690	978	7	16,160	50	858	71,476	16,426	87,902	(9)	
鳥取日赤	37.5	7.4	2.1	62,781	7,696	1,168	25	22,070		108	93,848	23,971	117,819	(31)	
今津日赤	52.0	19.0	2.6	86,166	17,695	1,466	2,871	10,600		165	118,964	4,133	123,097	(3)	
愛知血液センター	60.0	0.3	1.0	88,350	7,253	600	2,430	8,000		1,097	107,730	8,761	116,491	(2)	
水戸日赤	37.5	4.9	1.5	60,300	5,884	863	80	14,705		309	82,141	20,624	102,765	(16)	

(医療職) (二)

職種別賃金実態調査集計表

昭和41年9月分

施設名	平均年齢	勤年数	扶養家族数	基準内給与(平均)								基準外給与	平均総支給額	備考
				俸給	役付	扶養	暫定	特殊勤務	通勤	計				
浜松日赤	30.0	4.7	0.9	30,381	804	546		163		697	32,591	5,815	38,406	人員(22)
山田日赤	29.0	5.0	0	38,500				1,412	1,600	41,512	5,472	46,984	(1)	
鳥取日赤	31.5	8.2	0.3	33,607	1,479	293	7			224	35,610	6,090	41,700	(28)
岡山日赤	29.4	6.4	1.1	30,566	1,074	586	800	759	898	34,683	7,035	41,718	(26)	
唐津日赤	36.3	4.6	1.7	32,062	1,000	900		365	168	34,495	4,485	38,980	(8)	
今津日赤	42.0	14.0	1.2	40,425	2,131	700	1,102	512	353	42,223	1,123	46,346	(8)	
愛知血液センター	36.0	2.5	1.0	38,900	2,310	600	2,630		1,300	45,740	4,253	49,993	(2)	
水戸日赤	32.6	6.8	1.0	32,781	688	525	14	766	631	35,405	7,852	43,257	(16)	
筑前山田日赤	38.0	6.5	2.5	30,650	1,145	1,200	800	975	1,390	36,160	4,823	40,983	(4)	
足利日赤	30.5	6.4	0.8	29,900	1,100	400		520	616	32,536	3,776	36,312	(10)	

(医療職) (三)

職種別賃金実態調査集計表

昭和41年9月分

施設名	平均年齢	勤年数	扶養家族数	基準内給与(平均)								基準外給与	平均総支給額	備考
				俸給	役付	扶養	暫定	特殊勤務	通勤	計				
浜松日赤	28.7	4.7	0.09	26,620	369	40		81		754	27,864	6,041	33,903	人員(86)
山田日赤	32.0	8.0	0.20	31,353	539	126		216		283	32,572	5,019	37,591	(19)
鳥取日赤	28.6	6.5	0.03	29,339	373	17	1			84	29,814	7,785	37,600	(141)
今津日赤	41.0	5.8	0.40	31,749	962	78	849	1,158	770	35,556	1,917	37,473	(7)	
岡山日赤	29.5	5.2	0.10	29,015	374	79	771	66	595	30,900	8,311	39,214	(124)	
愛知血液センター	34.0	3.2	0.15	26,007	385	92	1,340		807	28,631	2,421	31,052	(13)	
愛知県支部	45.0	12.0	0	37,300	890		1,370		1,080	40,640	3,052	43,692	(3)	
静岡県支部	48.0	21.4	0	43,150	1,960		1,180		400	46,690		46,690	(2)	
水戸日赤	37.8	13.3	0.25	38,756	1,859	150	10	159	446	41,380	13,355	54,735	(16)	
筑前山田日赤	29.4	3.6	0.10	22,850	293	67	572	214	236	24,232	2,840	27,072	(18)	
足利日赤	26.0	5.5	0	26,150	485			336	139	27,110	5,880	32,990	(15)	

(技能労働)

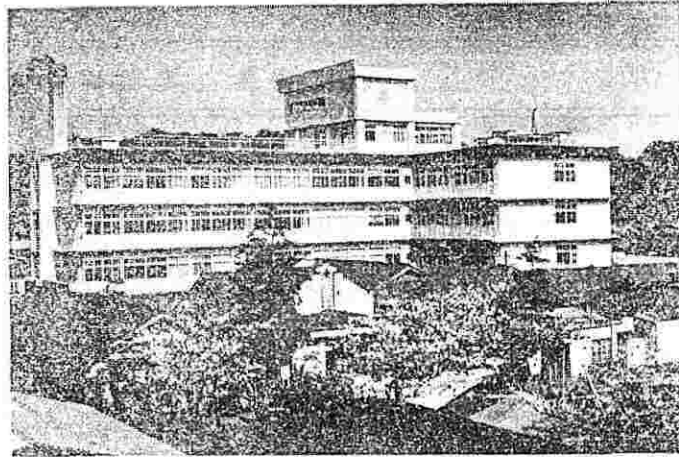
職種別賃金実態調査集計表

昭和41年9月分

施設名	平均	勤年	統数	扶養	基準内給与(平均)							基準外与	平均総支給額	備考
					俵給	役付	扶養	暫定	特殊勤	通勤	計			
浜松日赤	41.3	6.8	1.2	23,482		398			97	399	24,376	4,561	28,937	人口(80)
山田日赤	22.0	2.3	0	19,600						958	20,558	3,107	23,665	(3)
鳥取日赤	36.3	6.9	0.5	22,550	31	276	7			156	23,020	4,240	27,260	(74)
岡山日赤	40.4	8.6	0.5	23,374	82	302	586	66		467	24,877	4,946	29,823	(92)
唐津日赤	37.3	4.5	0.5	21,540	57	287		316		366	22,566	2,363	24,929	(30)
今津日赤	41.1	7.8	0.8	20,250		380	502	660		250	22,042	1,215	23,257	(30)
秋田県支部	35.0	7.0	2.0	26,200		1,070				980	28,250	2,467	30,717	(3)
岩手県支部	29.0	2.0	2.0	23,500		1,200					24,700	9,000	33,700	(1)
埼玉県支部	35.0	3.0	3.0	19,600		1,600	565			800	22,565	1,876	24,441	(2)
静岡県支部	55.0	22.6	1.0	31,400		600	920				32,920	0	32,920	(1)
愛知県支部	54.0	7.0	0	20,900			980				21,880	1,994	23,874	(1)
滋賀県支部	38.0	0.1	5.0	19,300		2,400	450				22,150	0	22,150	(1)
岡山県支部	40.0	0.5	0.9	18,700		300	445			250	19,695	4,150	23,845	(2)
大分県支部	49.0	14.0	1.0	28,200		600					28,800	1,935	30,735	(2)
愛知県血液センター	36.0	4.7	0.7	26,650		300	980			1,304	29,234	3,269	32,503	(4)
富山県支部	52.0	6.0	1.0	21,700		600	365				22,665	0	22,665	(1)
福岡県支部	44.0	7.0	2.2	25,025		1,100	1,270			700	28,095	2,577	30,672	(4)
水戸日赤	36.2	7.1	0.8	23,694	16.3	488	8	10		314	24,677	9,860	34,534	(16)
筑前山田日赤	47.5	6.2	0.7	19,510		363	458	94		258	20,683	1,942	22,625	(16)
足利日赤	27.0	4.0	1.1	19,700		630				360	20,690	0	20,690	(7)

# 定期大会(日光市)を盛りあげよう!

## 浜松赤十字病院職員組合



単組めぐり

我が単組

私達の病院浜松赤十字病院は、お茶とみかんでおなじみの静岡県西部浜松市にあり、人口四十数万人の工業都市であります。古い歴史を持ち独自の薬器製造特にピアノ・オルガンは日本はもとより世界的にも知られて居ります。又、戦後急激に発達した自動車製造は、三大企業によって浜松を活性化づけています。当地では三輪の車をポンポンと云って親しまれて居り、最近では四輪の製造も相当行われて居ります。

その他古くからの織物工業などにより益々発展を続けて居ります。尚浜松は南に遠州灘を眺望し、海辺には勇大な中田島砂丘があり市民の遊樂の地ともなっている。市の西方には夏期海水浴で賑わう浜名湖・弁天島・館山寺温泉と背には赤石山脈等自然の美にも大いに恵まれている。

又病院北西の高台は、昔雷川と武田の勝利をきこった三方原古戦場の跡(現在は天主閣が復元されている)も、この地の古い歴史を思わせる。以上が市の概観であるが少し病院の沿革を述べよう。

創立は静岡支部浜松診療所として昭和十三年現在地に開設、当時既に支那事変がはげつたため物資等の関係上木造平屋建の小さい建物で病床は九床からはじまりました。満二十八才の病院で年々増築し拡張していった。

昭和三十七年には第一期工事として鉄筋四階建の新病棟を増築し、病床数三七六となった。

尚今般第二期工の鉄筋六階建本館及び病棟を増築中で、それが完成すれば五一八床になり、県下有数の総合病院となります。

現在職員数は二八〇名名であるが

今後職員数も増加すると思われるので、当然組合問題も増すであろう。組合に關して、吾々が「新労」へ加盟したのは昭和三十六年からでそれまでは組合は全々無く「日赤新労」へ加盟する為についた様なものであります。

故に組合活動には素人はかりで知識もなく、組合結成には、新労及び某単組のお骨折りによるものであって、組合員一同感謝致して居ります。

結成大会には知らぬ事ばかりだがそれそれ興味をもって大会に臨み真剣なる論議が交され盛大なものであった。

綱領にも強固な団結と協力を誓った。

しかしながら、組合はできたものの無知と組合の生立によるものか役員も労力にもかかわらず全体の組合意識が低く、結成以来組合の悩みの種であります。

それ故、本年度のスローガンにも意識の昂揚を取り上げ努力はして居りますが、なにせ誕生間もない組合であるため思う様には効果がでない。

だが新労本部並びに各単組の御指導によって少しづつではあるが、力がついて参りました。

このような状態ではあるが、幸か不幸か吾々の病院には組合は一つのみであって、全職種で組織しており非常に活動はしやすい。

依って組合員の意識の向上と強い団結を得たならば、尚一層「力」も強まり、病院に対する圧力も組合が一つと云う条件にもより、大きなものにならう。

しかるに本年度はいかに組合を強大なものにするか。に重点を置き組合長を中心として役員一同苦心して来ました。

その一つとして、まず組合活動を全組合員に知ってもらうため、あらゆる事柄について「速報」を出した。これは、ある程度好結果で

あったと思われる。

以上お粗末な内容を述べたが、まだまだ結成以来日赤の浅い我が単組は、進展の余地が多分にあり、新労本部をはじめ各単組の御指導と御支援をお願いすると共に、加盟単組の一致団結による……「日赤新労」の今後益々の発展を祈るものであります。

書記長 藤井克治

